



# TECHNICAL INFORMATION

## テクニカル インフォメーション

平成19年 7月 (No.83)

### 三菱Jケミカルカラーフィルム用スタート剤「FSJII」市場導入のご案内

この度、三菱製紙株式会社は、Jケミカル向けカラーフィルム用スタート剤「FSJ」の処方を変更し、新たに「FSJII」として市場導入することとなりましたので、下記にご案内いたします。

#### 記

#### 1. 名称

新タイプ処理剤の名称 **FSJII** (エフエスジェイツー) (旧タイプ名「FSJ」)

#### 2. 主な変更点 (FSJ → FSJII)

- ・一箱で調液できるタンク液の仕上がり量 (キット容量) が変わります。
- ・各キットのラベル表示色が補充キット (錠剤カートリッジ) のラベルと同じ基調色になります。
- ・処理剤の容器がポリボトルからソフトパック (一部ポリ袋) に変わります。

#### ご注意：

- ・補充キットであるFSJLR2に変更はありません。(錠剤はそのままお使い頂けます)
- ・処理剤の基本処理条件に変更はありません。(ミニラボ設定はそのままお使い頂けます)

#### 3. ケミカル仕様

##### (1)キット容量及び構成

一箱で調液できる仕上がり量 (キット容量) が変わります。新しいスタート剤FSJIIをご注文頂く際には下表を参考に、調液に必要な数量をよくご確認ください。

種類	製品名称	構成	キット容量	※旧タイプの キット容量
発色現像スタート剤	FSJII-1	A液、B液、C剤	5L用×4個	←変更なし
漂白スタート剤	FSJII-2	1液	1L用×8個	2.5L×2
定着スタート剤	FSJII-3	1液	8L用×1個	5L×2
TCSスタート剤	FSJII-4	1液	10L用×4個	4L×4

注：FSJII-1のC剤は、粉体薬品となります。

(2) 包材

種 類	製品名称	基調色	容器形状
発色現像スタート剤	FSJⅡ-1	赤	ソフトパック (A液,B液,C剤共)
漂白スタート剤	FSJⅡ-2	橙	ソフトパック
定着スタート剤	FSJⅡ-3	黄	ポリ袋
TCSスタート剤	FSJⅡ-4	緑	ソフトパック

- ・色 : 外箱と容器ラベルに使用する各工程の基調色を錠剤カートリッジと同じ色に変更。
- ・容器形状 : 内容器をソフトパックに変更。 (FSJⅡ-3のみポリ袋)
- ・LotNo. : 4桁の数字にて表示。

4. 使用方法

調液の詳しい手順につきましては、添付の「FSJⅡ調液シート」をご参照ください。

既設のミニラボ処理液を部分的に更新する場合など、旧タイプ「FSJ」処理剤と工程別の混在使用が可能です。

例) 脱銀不良対策として、CD、BL、TCSのランニング液は旧タイプの「FSJ」のまま、FIXのみ「FSJⅡ」の新液に入れ換えて使用可。

但し、一つのタンクの中で「FSJ」と「FSJⅡ」の薬品同士を混合した調液はできませんので、ご注意ください。

5. その他

【保管及び廃棄上のご注意】

(1)保管

- ・FSJⅡ-1は医薬用外劇物として法律で指定されていますので、施錠できる場所にて保管してください。

(2)廃棄

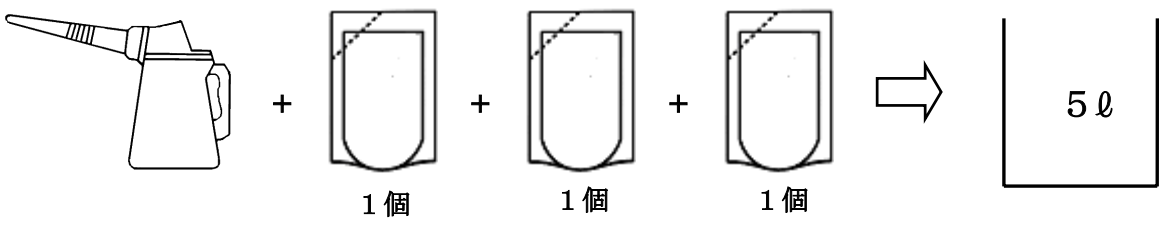
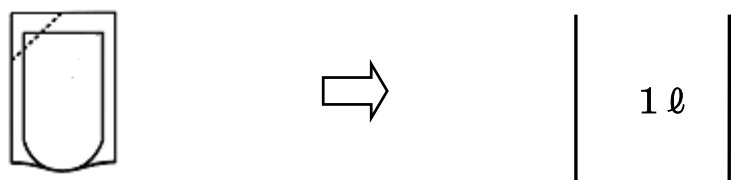
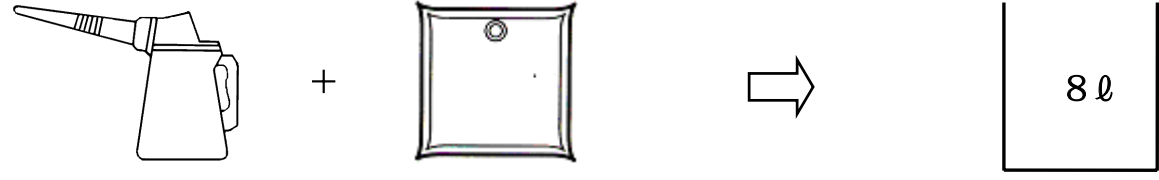

- ・FSJⅡ-4は新たに特別産業廃棄物の指定となっております。  
原液のまま廃棄する場合は特別管理産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、運搬、処理を委託してください。  
調液済みのFSJⅡ-4の場合は、廃液と同様に産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、運搬、処理を委託してください。

6. 発売時期

2007年8月以降、順次切り替えいたします。

以 上

タンク液の調液方法

<p>C D</p>	<p>水：4.3ℓ    <u>FSJ II-1、A液</u>    <u>B液</u>    <u>C剤</u>    <u>タンク液 5ℓ</u></p>  <p>1個    1個    1個</p> <p>1分程度攪拌    1分程度攪拌    1分程度攪拌</p>
<p>B L</p>	<p><u>FSJ II-2</u>    <u>タンク液 1ℓ</u></p>  <p>1個</p>
<p>F I X</p>	<p>水：5ℓ    <u>FSJ II-3</u>    <u>タンク液 8ℓ</u></p>  <p>1個</p> <p>1分程度攪拌</p>
<p>T C S</p>	<p>水：10ℓ    <u>FSJ II-4</u>    <u>タンク液 10ℓ</u></p>  <p>1個</p> <p>1分程度攪拌</p>

\*調液水には、30℃前後に温度調節した飲料用水道水をご使用ください。

\*FSJ II-1のC剤は粉体です。調液時には薬品の粉が少量舞い上がることもありますので、吸い込まないように十分に注意し、保護マスクを着用してください。

\*FSJ II-2はそのままタンク液として使用できます。

\*薬品のついた空容器は、よく水で洗浄、乾燥させてから廃棄してください。

また薬品の混じった洗浄水は、通常廃液と同様に専門の処理業者による回収を行ってください。